

**臨床福祉専門学校**  
**平成29年度 第1回 学校関係者評価委員会 議事録**

日時：平成29年12月23日（土）15：00～16：30

場所：臨床福祉専門学校 202 教室

出席委員及び所属

委員長：相原 実（地域代表）

矢内 崇博（業界関係者・同窓会長）

澤田 光毅（卒業生代表）

全徳 正康（校長補佐） 石垣 栄司（教務部長） 馬目雪枝（学生委員長）

萬崎 保志（事務部長） 樋口 豊朗（事務局 教務課）

欠席： 徳永 正（非常勤講師代表）

### 1. 委員紹介及び本委員会の目的

昨年度をもって任期が切れた為、委員構成を改めた事から、委員紹介を行った。  
また、以下に続く本年度の委員会の開催目的を伝えた。

### 2. 敬心学園全体の現時点における再編計画について

平成31年度に専門職大学（仮名 東京専門職大学）を本校舎を改築し、設立予定。認可申請を現在行っている段階である。専門職大学を設立するには、東京都23区における定員規制により、専門学校の定員を削減する必要がある。故に、本校においても、柔道整復学科は既に募集を停止しており、理学療法学科は平成30年度入学生を最後に募集を停止する事となる。また、言語聴覚療法学科は段階的な大学移行に伴い、将来的には募集を停止する事となる。

### 3. 2の趣旨を鑑みた、今後の本委員会の運営について

専門職大学設立に伴い、最後の指定取り消し（廃課）まで年数が限られるが、臨床福祉専門学校としては、以後本委員会においては、多数ある自己評価項目の中から重点項目の絞りこみを行った方が良いという結論に至った。

（意見交換）

（矢内）学校がいずれ募集停止を行い、指定取り消しをするとすると

今まで実習等で強い信頼関係を培った卒業生（同窓会含む）との

繋がりが気になる。今後は「項目4-15 卒業生の社会的評価」を

重視すべきではないか。以前からの中心議題となっていた「項目1 理念・目的・育成人材像」は重点項目から除外しても良い。

(澤田) これからの学園全体に絡む学校の動きを明確化する必要が有る事から「項目 2-3 事業計画」は必須である。  
また、専門職大学設置という視点では、「項目 2-7 情報システム」も必要と思われる。

(相原) 評価が低いところは一度全体的に見直す。  
また、学園全体の絡みもあるので、学校単体として手が付けやすい項目に絞り込みを行うという視点が必要。  
現時点では、大学の教育課程では必須となる「項目 10-36 社会貢献・地域貢献」は一度確認しておいた方が良いと思われる。

### 3. まとめ

専門職大学設立に伴い、継続的に本委員会を運営していく中で、重点項目の絞りこみを行うという事で、一致した。第二回目の委員会では、本日委員から意見が出た項目を中心に評価を行っていく事とする。